

新潟市教育委員会 平成27年9月 定例会会議録				
日 時	平成27年9月25日(金) 午後3時30分			
場 所	市役所白山浦庁舎7号棟 405会議室			
教育長	前 田 秀 子			
出席委員 (7名)	吉 村 委 員		出席委員	眞 谷 委 員
	齋 藤 委 員			佐 藤 委 員
	織 田 委 員			
	伊 藤 委 員		欠席委員	沢 野 委 員
	藤 田 委 員			
会議に出席 した職員 (20名)	職・氏 名		職・氏 名	
	教 育 次 長	高 島 徹	生 涯 学 習 センター所長	三 保 恵 美 子
	教 育 次 長	長 浜 裕 子	生 涯 学 習 センター次長	井 関 一 博
	教 育 総 務 課 長	上 所 隆	中 央 公 民 館 長	五 十 嵐 政 人
	学 務 課 長	川 崎 健	中 央 図 書 館 長	山 川 正 士
	施 設 課 長	小 林 正 人	中 央 図 書 館 サービス課長	松 田 玲 子
	保 健 給 食 課 長	松 崎 義 春	新 津 図 書 館 長	松 原 伸 直
	地 域 教 育 推 進 課 長	佐 々 木 克 己	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	五 十 嵐 雅 樹
	教 職 員 課 長	吉 田 隆	教 育 総 務 課 係 長	灰 野 梢
	総 合 教 育 センター所長	高 地 啓 衛	教 育 総 務 課 主 査	石 田 貴 宏
	学 校 支 援 課 長	大 井 隆	教 育 総 務 課 主 査	小 林 夏 那 恵
その他の 出席者 (0名)				

開会	時 刻	午後 3 時 3 0 分
	宣 言 者	教育長
報告 (1 件)	件 名	
	平成 2 7 年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果について	

第1 開会宣言

○教育長

午後3時30分開会を宣言する。

本日、沢野委員から本日の会議を欠席するとの連絡が入っておりますが、会議の定足数である過半数を満たしております。

本日、報道はありません。なお、会議中に報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありましたら、これを許可することにご異議はありませんでしょうか。

よろしければ、許可することで決定します。

第2 会議録署名委員の指名

○教育長

新潟市教育委員会会議規則第11条により、会議録署名委員に藤田委員及び眞谷委員を指名します。

第3 報告

○教育長

これより報告案件に入ります。

「平成27年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果について」、学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

報告1の表は小学校6年生、中学校3年生の今回受けた子どもたちの平均正答率になります。

新潟市全体の結果は、小学校、中学校ともほとんどの教科で全国及び新潟県の平均正答率を上回るか同じでありました。

ただ、ご覧のとおり、中学校の理科については全国平均を0.3ポイント下回りました。

小学校については、すべての教科で全国平均を上回り、特に理科では5ポイントと全国平均を大きく上回りました。また、設問別に見ると、全国平均を上回った問題数は、算数Bで約6割にとどまりましたが、それ以外の教科では教科全体の8割から10割が全国平均を超えたということでもあります。

中学校は理科以外の教科で全国平均及び県平均を上回りました。設問別に見ると、国語と理科で4割から5割の問題が全国平均を上回りました。数学Aでは7割で上回りました、数学Bに至りましてはすべての問題が全国平均を上回ったということで、中学校の方では数学が非常に健闘したということになります。これは、後ほどお話ししますが、学習課題とまとめを中心とした授業改善が成果として表れているととらえています。

また、学校訪問や各種研修会をとおして、今後も従来の指導内容をさらに徹底していき、各学校の実態に即した進路支援を行いながら、児童生徒の力をさらに伸ばしていきたいと考えております。

報告2、3は、これまで教育委員会から学校へ働きかけた主な取組みになります。下は、それに伴った全国平均との差の一覧になっています。ご覧のとおり、平成24年度から主な取組みを始めまし

て、web配信の問題を出す、授業づくりリーフレットによる新潟市が目指す授業を明示したということが、平成24年度から始まっています。学校訪問による改善ということで、それまでは一人の代表授業としていたものをすべての学校を見させていただいて、学校全体に、よい授業というのはこういうものはだということを伝える計画訪問なのですけれども、それを平成25年度から始めているところでもあります。同じく研修会の研究主任を中心としたもの、あるいは校長を対象としたもの、教頭を対象としたものなど学校をマネジメントする側の、このように学校運営をしていただいて、授業を改善していただくとよいということを研修する研修会を開きました。

その結果が下にありますように、小学校では平成25年度からその成果が顕著に表れはじめ、中学校におきましても、今ほど国語は現状維持がされているのですが、数学に至っては平成26年、平成27年とだいぶ改善されてきている状況です。

実際に学校でどのように取り組んでいるのかということについてお話をしたいと思います。カラーの資料をご覧ください。

1ページ目ですが、これが先ほどご紹介しました各学校に配布している授業づくりリーフレットの一部分です。右側の中ほどに黒板の絵が書いてあります。今回の学力調査の結果から、子どもたちが何を勉強してきて、何が分かるようになったか、できるようになったかをはっきりさせるところが、学力向上に非常につながるがこの結果から分かりました。新潟市でははっきりとした授業を展開してほしいということで、そこに例示が出ているような学習課題と学習のまとめをしっかりとくださいという働きかけをしています。

2ページ目ですが、これは中学校の数学の授業になりますが、教育委員の皆様方も学校訪問をすると、教室に赤枠でやることが書いてあると思うのですけれども、だれが見ても、今日は何を勉強しているのか、何が分かるかができる授業にしてほしいということで働きかけていて、学習課題と学習のまとめをはっきりさせた授業を展開してほしいと。項目にあわせた対応をしたノートを作してほしいということで取り組んでもらっています。これについては各学校で非常に頑張ってくれまして、子どもたちが前よりも進んで授業をするようになったとか、実際に学力が上がってきたという学校が増えておりますので、今後もこれは推進していきたいと考えております。これが現在学校で進めている授業で、特に力を入れているところになります。

3ページ以降は、ホームページに掲載されている資料になります。詳しくは説明いたしません。各教科ごとに5ポイント以上上回った設問と、●は1ポイント以上下回った設問について、どうい

うところがよかったのか、どういうところが悪かったのかということを示しています。学校はこれらを参考に自校の様子も見ながら改善を加えているところです。

8ページをご覧ください。先ほどまで学力調査の結果をお話ししていましたが、8ページ以降は学習状況調査の結果です。これは項目が1番から87番までありまして、その項目について、全国と新潟市の比較をしたものです。ここからも、新潟市の子どものための課題というものが分かってきます。すべてはお話ができないのですが、例えば10ページをご覧ください。小学校の41番は「めあて・ねらいは示されたと思いますか」あるいは、「最後に学習内容を振り返る活動を行っていますか」というまとめにあたります。あるいは、「ノートにきちんと書いていますか」というものですが、これは、以前は低かったのですけれども、今は全国平均に比べるとそれぞれ5.4ポイント、12.1ポイント、5.6ポイントとかなり高くなっております。まだ成績が伸びていませんが、中学校の17ページです。17ページの中学校の41番から43番になりますが、「1、2年のときにめあて・ねらいが示されたと思いますか」ということで、これも全国平均を9.4ポイント、振り返る活動に至っては15.3ポイントということで非常に中学校の授業のほうも頑張ってきていることを示しているかと思えます。

一方課題もあります。小学校の方は、これはいくつかある中の一つなのですけれども、10ページの44番、45番、例えば「400字詰め原稿用紙に書くことは難しいか」、「自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることはどうですか」という項目です。感想文を書くのは1.3ポイント下がっているということになります。同様に、中学校の方も、45番がやはり▲で、「文章に書いたりすることは難しいと思いますか」と、書くことに抵抗を感じているということになります。また、中学校でもう一つ課題になるのが、21番から23番になります。小学校では家での勉強の様子なのですが、小学校では全国との差はほとんどないのですけれども、中学校になりますと「家での宿題をしていますか」が2.2ポイント低くなり、「予習をしていますか」が8ポイント、「復習をしていますか」で4ポイント下がるということで、家庭での勉強の仕方や進め方という点について、学校も少しかかわりながら改善していく必要があるのではないかととらえているところです。

ほかにも課題はあるのですけれども、すべてお話しできません。そのような形でこの資料を活用いたします。

各学校は全国、新潟県、新潟市、自分の学校のデータがありますので、そのデータを見ながら、自校の課題、テストの結果等を生活調査で明らかにして、そこを改善するという取り組みを行っています。

す。また、その結果と今後の取組みについては、各学校が保護者や地域に学校だよりを通して説明をするという形で進めているところ です。

以上、概要ですけれども、報告を終わります。

○教育長

ただいまの説明についてご質問、ご意見等はございますでしょうか。

○佐藤委員

確認です。課題として挙げた 44 番と 45 番ですが、難しいと思う人がどれだけいるかという割合を考えると、マイナスの方がよいのではありませんか。

○学校支援課長

私もそう思います。

○吉村委員

理科については今年度からですから、これから鋭意進めていかなければならないだろうと思います。しかしながら、小学校で全国平均を 5 ポイント上まわっているのに、中学校で唯一マイナスになっているあたり、今現在でどのような分析をされているか教えてください。

○学校支援課長

こういう機会は今回で 2 回目なのです。前は全国平均よりちょっと上程度だったのですけれども、今回は下がっています。その原因がどこかというのを探しているところなのですけれども、これは調査だけではない我々の感覚としては、理科の実験を一生懸命やっ てくださっているのですけれども、時間がおして、最後に何を学んだかというまとめの部分がおろそかになった授業が多いのではないかというのが、理科を実践している教師などから声が出ているので、その辺はしっかり最後まで、結果、どのようなことが分かったのか、何が分かるようになったかということを明確にするところまでいくような授業を展開する必要があるのではないかということ を一つ問題として挙げているところです。

○伊藤委員

ウェルカム参観日などで授業を見せていただきますと、低学年では◎で示したり、「学習課題」、「まとめ」というふうに、これを今日は学んだと、私たちが初めて見る教室の授業でも、それが非常によく分かりました。このやり方について、きちんと徹底されている先生や学校などがありますけれども、どのくらい定着というか普及しているのか。このやり方はどのくらい使われているのか。100 パーセントではないように見えたものですから。どの科目でも◎で示している学校もありましたし、その辺を少しお聞かせください。

○学校支援課長

この学習課題とまとめというのは、新たなことを学ぶときには必ず明示をしてほしいとお願いしています。すべての教科においてです。どのくらい普及しているかは、おおまかなものですが、小学校の方はかなり定着をしまして取り組んでいただいています。このことを取り組むことで学級が非常に落ち着くとか、子どもが変わるということを実感している担任の先生が多いので、それ

もありまして、小学校では広がっています。中学校も一緒に取り組んでいただいているのですけれども、学習内容が多かったり、今までのスタイルなどがありまして、中学校は小学校に比べるともう少し頑張らなければいけないかなという状況にあると思います。ただ、中学校も非常に取り組んでくれておりまして、今後さらにそこは定着してくるのではないかととらえています。

○齋藤委員

今日いただいた資料の8ページ以降、全国学力・学習状況調査の回答ということですが、これは市のホームページ等に掲載していますか。

○学校支援課長

掲載しております。

○齋藤委員

現場で非常に努力をしていて、その結果、新潟市はほとんどの教科で全国平均を上回っているということは、この数字を見ると分かります。その現場の努力が評価される材料として、この数字は前回に比べてどうなのでしょう。

本来、新潟市の課題であったものが全国平均をはるかに上回ってきたという経緯、そういうものを示した方が現場の励みになると思います。制限のようなものがあって、あえてそれをしていないのでしょうか。

○学校支援課長

公表する形では、このようなところではその辺は明示していませんが、先ほどお話ししたように、学習課題のまとめは明らかに前よりも数字が上がっていますので、現場に対しては非常に効果的だということは伝えております。

○齋藤委員

明らかに上がっていると言われたのですけれども、どこにも書いていない。市民の皆さんはだれも分からないと思うのです。新潟はいい数字が出ているわけでしょう。現場あるいは教育委員会で自己満足で拍手しているよりも、そこを全体で共有してほしいのです。決してとがめているわけではありません。

数字というのは意味をもつのです。私は何回も申し上げているのですけれども、これはだれが見ても分かるのです。全国平均のプラス3ポイント、4ポイントと、すごいなということはみんな分かります。しかし、新潟市というのは現場と教育委員会、家庭も含めて一丸となってみんなが努力している。その結果が、こういう形で少しずつポイントが上がってきているという推移を、私は、いろいろな方法で市民の皆さんに周知してもおかしくないのではないかと思います。

○学校支援課長

そのとおりだと思いますので、ホームページの掲載の仕方も、今のご意見を併せて、分かりやすくしていきたいと思います。頑張った成果ですので、齋藤委員のおっしゃるように、新潟市としても伝えていきたいと思います。

○伊藤委員

ウェルカム参観日に行きますと、おうちの方たちがたくさん来て

いる学校もありますし、もったいないけれどそうではない学校もあります。非常に見やすい板書で、すごく分かりやすいというのをぜひ見ていただきたいような授業風景もありました。

参観日のご案内として、例えば課題とまとめのように、授業のこんなところで工夫しているのが学力がすごく上がっていますとか、見るポイントみたいなものを添えると、あれのおかげで子どもたちは集中しているなど。その姿を見ていただくとか、その辺のアピールをどこかに載せる。この表に載せるのも大事なのですが、来てもらうための仕掛けとして、呼びかけの中に「いろいろと工夫した授業を見られます」とPRをしていただきたいと、実際に見て感じました。

今回、いろいろな授業、美術などでも課題とまとめが板書にあることで、授業に集中力を生んでいるのではないかと見えたので、多くの方から見ていただくように期待します。

○織田委員

資料の9ページについての意見です。小学校も中学校もどちらも「学校の宿題をしていますか」、「予習をしていますか」というところが若干残念な結果です。この辺も「課題」、「まとめ」といった授業改善の成果があって、どんどん改善されていくところだと思うのですけれども。

今、伊藤委員がおっしゃったように、おうちの方の協力があると家庭での学習というのはもっと進むと思います。「このポイントはずいぶん復習してほしいところだ」ということが分かるように、1回1回の授業の中でのポイントの一つ挙げてみてはいかがでしょうか。授業参観でも「★印がついているところは、家庭でぜひ復習してください。」というようにアピールすれば、保護者の方も「ここはうちでも家庭学習を頑張らせてやらせなくちゃ」というお気持ちになっていただけるのではないかと思います。

漠然と、予習をしてきなさい、復習してきなさいという指導はたぶんしていないと思うのですけれども、より具体的であるほうが、子どもたちはきちんとこなしていくのではないかと。それが自力につながっていくのではないかと感じます。

もう1点、16ページです。中学生の設問27番、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問について。

区教育ミーティングや中学校区ミーティングで、地域の方の生のお声を拝聴しますと、「地域の方は中学校に一生懸命協力しているけれども、中学生は忙しすぎて地域の行事に来ないじゃないか」「中学生の姿が地域にもっとほしいんだ」というお声をちょうだいいたします。部活動などで忙しいとか、また、思春期にあたるため、気恥ずかしくて地元の行事に素直に行けないとかというのは全国的にどこもの中学校も同じだとは思いますが、資料にあるように、全国

に比べて本市では少し残念な数値にあるということは、何かもう少し新たな働きかけがあればきっと、本市の子どもたちも地域の行事に参加しやすくなるのではないかと思いますので、もうひと工夫をよろしくお願ひしたいと思ひます。

○学校支援課長

今ほごご意見は参考になさせていただきます。それぞれに課題があつて、地域によつてかなり違ひます。区ごとのものは出ていませんけれども、区によつてもだいぶ温度差がありますので、その辺の成績があつている区のことを参考にしながら働きかけていきたいと思ひます。

○眞谷委員

今の織田委員のご意見にあわせてなのですけれども、我々が行政の側から教員を指導することはできても、家庭を指導するということは非常に難しいのでしようけれども、授業参観のときに、ここが復習のポイントですよといったことを、来られた保護者が見ていれば家庭で話ができると。ただ、その問題は 16 ページの 18, 19 を見ますと、家の人はいあまり来ていないということですよ。そもそも学校に保護者が来ている割合が全国から見てもかなり低い。小学校でもかなり低い数字になっていますので、どうしたらいいのかというのは難しいのですけれども、情報としてはぜひ流していただけるといいのかなと。

「新潟市はここがすごいですよ」というのも、もちろん大事ですけれども、全国から見ても、学校に行く割合が 7.5 ポイントも中学校のほうが低いという情報は情報としてやはり、それを見て、保護者がどう考えるかそれは我々はどうもできませんけれども、現状、新潟市はこうなのだということだけは、むしろお知らせいただくことも必要かなと思ひます。

○学校支援課長

先ほどの齋藤委員のお話と併せまして、よいところと、課題をセットにして、もう少し分かりやすい形を出していきたいと思ひます。機会があれば、それを伝えるような場があれば伝えていきたいと思ひます。

○伊藤委員

今の件に関連しますけれども、質問の 87 項目というのは毎回同じ内容でしようか。同じであれば比較ができるということで、齋藤委員もおっしゃつたように、数字だけでは前のときからよくなつたとは比べにくいのですけれども、引き続き、ここの部分がいいということは把握できると思ひるので、その辺、成果があつているところが项目的に分かるように、比較できるようにしていただきたい。前回はよかつたけれども、ちょっと課題が出てきたとか、課題だつただけけれどもクリアできているといった部分はとても大切な部分だと思ひます。効果があつているかどうか、数字で年度比較ができる大事な資料だと思ひるので、やはり説明を添えていただくと分かりやすいと思ひます。

○学校支援課長 この項目につきましては、文部科学省で毎年改訂しているところがありまして、全部が毎年同じではなく、追加されたり、削られたりしています。しかし、継続した同じ項目もあります。そういうものについては経過が分かりますので、分かりやすく示していきたいと思えます。

○佐藤委員 先ほどの眞谷委員の意見に私からも追加します。中学校のほうでは、家の方の学校とのかかわりが全国平均のポイントよりも低いという中で、学校からは、親御さんとお話するチャンスがなかなかないという話でしたけれども、1月に市のPTA連合会の役員の方々と我々教育委員との懇談の場があります。そういう機会も使いながら、我々も親御さんにそのようなところの啓蒙をしていきたいと思えました。

○学校支援課長 ありがとうございます。そういう機会を使っていただくと大変ありがたいと思えます。

○教育長 藤田委員、いかがでしょうか。

○藤田委員 私が聞きたいことは吉村委員が聞いてくださったので、あとは皆さんがたくさんおっしゃったと思えます。

○教育長 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告案件については以上といたします。

次に、次回の日程について、教育総務課からお願いします。

第4 次回日程

○教育長 次回の日程について説明を求める。

○教育総務課長 10月につきましては、10月26日月曜日午後3時30分から、11月につきましては、11月20日金曜日午後3時30分から、12月につきましては、12月18日金曜日午後3時30分から定例会を予定しております。

第5 閉会宣言

○教育長 午後4時00分、閉会を宣言する。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

署名委員